

## 天極吉野葛乳酸菌の継続摂取がインフルエンザ等の ウイルス感染防御に与える影響

天極吉野葛乳酸菌が、インフルエンザウイルス等のウイルス性感染症に及ぼす効果が実際に人でも現れるのかを検証するため、奈良県内の保育園においてモニター試験を行った結果、有意差が認められました。

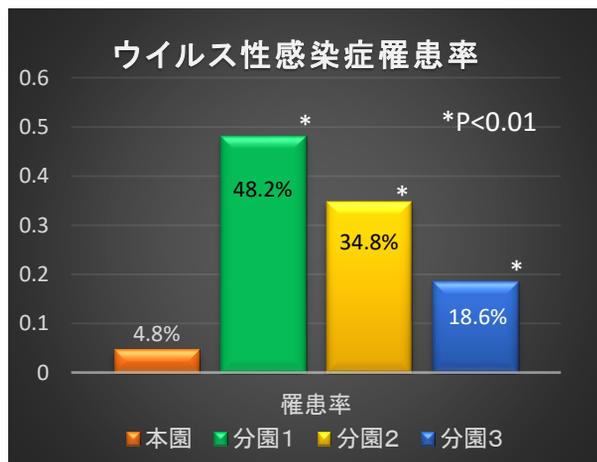
### 研究の背景と目的

中部大学で行ったマウスを用いたインフルエンザ試験において有効な結果が得られたこと、安全性試験においても安全であることが確認されていることから、奈良県内の保育園で天極吉野葛乳酸菌入りのゼリーを継続して給食で食べてもらい感染防御になるのかを調べていくことになりました。

### 研究の内容

インフルエンザが流行する1月～2月に奈良県内にある保育園の園児に天極吉野葛乳酸菌を100mg配合した白桃ゼリーを給食時のデザートとして継続して食べてもらい、隣接する保育園との感染率を比較した。【本園（摂取している園）：209名、分園（摂取していない園）：A園：112名、B園：89名、C園：86名】

### 結果概要



病名	ウイルス性感染症罹患率			
	本園	分園1	分園2	分園3
インフルエンザウイルスA	10	35	27	16
アデノウイルス	0	9	1	0
ロタウイルス	0	1	1	0
手足口病	0	3	1	0
RSウイルス	0	4	0	0
ヒトメタモニューウイルス	0	2	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0
罹患者合計	10	54	31	16
園児数	209	112	89	86
罹患率	4.8%	48.2%	34.8%	18.6%

天極吉野葛乳酸菌入りゼリーを継続して食べていた園は他の園と比較し、インフルエンザウイルス等によるウイルス性感染症に対する罹患率が顕著に少ない事が確認された。